

第 5 回黒磯地区交流拠点づくり構想策定検討委員会 議事要旨

■日時 平成 30 年 3 月 20 日（火）

■場所 岩国市役所 3 F 31、32 会議室

■協議事項

- (1) 住民説明会の報告について
- (2) まちづくり構想（素案）について
- (3) 事業展開スケジュール案について

■主な意見要旨

—住民説明会の報告について—

〈委員〉

- ・ 今後も情報提供や意見交換等は重要と考える。平成 30 年度以降も実施されるのか。

【事務局】

- ・ 来年度からの基本計画・基本設計を進める中でも、意見交換会等の開催を検討しながら進めてまいりたい。

—まちづくり構想（素案）について—

〈委員〉

- ・ 住民説明会では、スポーツ施設としてグラウンドを整備してほしいといった意見や、避難所の機能を導入してほしい等の具体的な意見があり、また、まちづくり構想では、公共施設等マネジメントについても触れられている。これらの実現化にあたっては、市全体の施設配置や規模、地区人口・エリア毎の利用人口等の設定が必要であり、黒磯地区のイメージをより具体化していくことが求められる。庁内全体の課題として共有し、取り組んでいただきたい。

【事務局】

- ・ 岩国市は少子高齢化を迎えるなか、市町村合併により多くの施設を有しており、市が維持管理をしている中で、施設の老朽化や耐震性の不足などの様々な問題を抱えている。公共施設等総合管理計画や、本年 2 月に策定された岩国市公共施設等アクションプランを踏まえ、本まちづくり構想では、単に公共施設を黒磯に移転させるという考えではなく、どのような事業を計画地で展開するのかを議論し、必要な施設や設備等の検討をしていくことが必要と考えている。

〈委員〉

- ・ 黒磯地区の交通条件について、岩国南バイパスとの接続については十分に調整を重ねなければならない。また、方針として、地区内を通り抜ける幹線的な道路が必要なのか、地域住民が利用する生活道路が必要なのか、明確に整理する必要がある。現在の表現でも問題はないが、幹線的な道路ではなく生活道路について検討し、周辺交通が混在してしまう懸念についてもソフト対策を講じながら道路基盤を整備するという認識が最善と思う。

【事務局】

- ・ 岩国南バイパスについて、国土交通省から示されたルート案は、計画地よりも山側（西側）に位置しており、そこへの接続も含めて検討・調整していきたい。また、岩国南バイパス南伸との事業スケジュールと平行し、国道 188 号や周辺道路に繋がるアクセスについても検討したいと考えている。
- ・ 住民説明会においても、地域が鉄道で分断されていてアクセス性が悪いといった意見や、アクセスが悪ければ、いくら良い施設が整備されても使い勝手が悪くなるとの意見もあり、地区外からのアクセスを踏まえ、利便性や実現性、ソフト対策等も考慮しながら検討していきたい。

〈委員〉

- ・ 丁寧な住民説明会を開催しており、地元をはじめ、地元以外の岩国市に関わる様々な方の意見が広く得られている。次のステップでは、ここで得た意見をしっかりと反映し、調整していくことを期待したい。

【事務局】

- ・ 住民説明会では様々な意見をいただいたが、その中で、アクセスについての意見や、災害時には避難所として活用したいという意見が多かった。また、今後の維持管理や将来に負担を残さないようにしてほしいという要望が多く、新しい施設については、統廃合等含めて、市全体の観点から検討していく旨を説明させていただいた。

〈委員〉

- ・ 上位関連計画について、「教育」に関する項目が新たに追加されている。これについてはどのような経緯があったのか。

【事務局】

- ・ 庁内において、意見照会を実施したところ、基本理念として掲げている「遊び・学び・育てる場づくり」を受けて、「教育」についても上位計画との関連をきちんと整理しておくことが望ましいとの意見等を踏まえ、追加したものである。

〈委員〉

- ・ 公共施設等マネジメントに関連して、計画地では安易に既存の公共施設を移転させるというような考え方はしないとのことであったが、そこは今後も揺るがないように、しっかりと理由付けや説明をしながら進めていってほしい。また、福祉・交流のまちづくりのために、こども体験交流施設で何ができるか、また、計画地でなければならない理由について、きちんと整理しておく必要がある。教育についても、校外の体験学習だけでなく、周辺の海辺や森林、天体、風力など、具体的なアピールポイントを整理し、それらを活かしたまちづくりを計画すれば、事業展開や合意形成が図りやすいと思う。

【事務局】

- ・ こども体験交流施設での具体的な取組みや、計画地でのアピールポイントについては、今後、更に具体化する検討の中でしっかりと整理・検討していきたい。

〈委員〉

- ・ 公共施設等マネジメントについて、老朽化した施設を何もかも更新するのでは、将来に負担をかけてしまうため、施設の絞り込みをしなければならない。

【事務局】

- ・ 公共施設マネジメントを踏まえた施設の更新については、自治体の規模等もあり、何もかもというのは困難と考えている。将来的な財源等も踏まえ、市民に必要とされ、市が力を入れて取り組まなければならないものを、計画地に整備していきたい。また、誰もが何度も訪れていただけるような施設を目指して計画を進めたい。

—事業展開スケジュール案について—

〈委員〉

- ・ 事業展開スケジュール案について、具体的な施設や事業等は、どのように検討・決定していくことになるのか教えてほしい。

【事務局】

- ・ まちづくり構想の中で、関係部署にどのような事業が展開できるのか意見聴取しており、基本計画において、それらをベースに様々な活動を行うための諸室や規模等の設定を検討することとしている。また、施設の具体化や絞り込みについては、基本計画の策定の中で、庁内の関連部署や有識者、事業者等にも意見聴取や確認をしながら検討を進めていきたいと考えている。

〈委員〉

- ・ 将来活用用地として位置付けられる灘海園の跡地は、他の区域を先行して施設配置した場合、利用が制限されてしまうことも考えられるため、引き続き、連携した活用を検討していく必要があると思う。

【事務局】

- ・ 灘海園の跡地については、市有地ということもあり、ある程度の自由度を有する中で、まちづくり構想の方針として、連携した活用策も含め引き続き柔軟な検討を行うこととしている。

以上